2010年6月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項　　目	記　載　内　容
英文総説		
1	著者名	Hajime Kojima
	総説題名 （和訳）	Commentary to the Discussion on Topics 3, " In Vitro Test Approaches with Bettre Predictivity" at the 5th International Workshop on Genotoxicity Testing (IWGT)(第5回国際遺伝毒性試験ワークショップ　トピックス3"予測性を高めるin vitro試験への取り組み"討論へのコメント)
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	Genes and Environment, 32(2), 40-42, 2010
国内学会		
1	発表者名	小島　肇
	演題名	パネルディスカッション　新しい感作性および局所刺激性（皮膚・眼）試験法のOECDテストガイドライン
	学会名，発表年月及び場所	日本トキシコロジー学会学術年会，平成22年6月16-18日　沖縄コンベンションセンター（沖縄）
レギュラトリ―サイエンス関連会議報告		
1	参加者名	小島　肇
	会議名（和訳）	Accelerating the transition to a toxicity pathway-based paradigm for chemical safety assessment through internationally co-ordinated research and technology development　workshop　（国際協力による研究および技術開発を通して、化学物質の安全性評価のための毒性経路を基本とした枠組みの変遷を加速するワークショップ）
	開催場所，年月	ポツダム、ドイツ、2010年5月31日～6月2日
	会議内容	欧州における動物実験代替法の研究支援の一環として、支援を受けているプログラムの年次報告会（ワークショップ）が開催された。本会にて、3R-Activities in Japan（日本における3R活動）について報告した。
2	参加者名	小島　肇
	会議名（英文の場合は和訳も記載）	IN VITRO　MODELS FOR REPRODUCTIVE TOXICITY TESTING WORKSHOP（生殖毒性試験のためのin vitroモデルワークショップ）
	開催場所，年月	タリン、エストニア、2010年6月6日
	会議内容	ICH：International Conference on Harmonisation of Technical Requirements for Registration of Pharmaceuticals for Human Use（日米EU医薬品規制調和国際会議）の議題の一つとして、生殖毒性試験のためのin vitroモデルワークショップが開催された。